

先進地事例見学会の概要
～ 中部圏内最大級の生花市場 ～
名港フラワーブリッジ（愛知名港花き地方卸売市場）

平成 24 年 11 月 16 日（金）（7：30～10：00）に名港フラワーブリッジ（愛知名港花き地方卸売市場）様にご協力いただき、先進事例見学会を実施しました（参加人数 18 名）。以下にその概要をご紹介します。

I 中部圏最大級の生花市場「名港フラワーブリッジ」

名港フラワーブリッジは、福花園花き地方卸売市場、地方卸売市場ヤマエ生花市場、名古屋正花き地方卸売市場、細野花き地方卸売市場及び花兼花き地方卸売市場の卸売会社 5 社の合併により、2010 年 3 月 31 日に開場した中部圏内最大級の生花市場です。名称の「名港フラワーブリッジ」は川上（産地）と川下（小売店・消費者）との架け橋になる、との趣旨から名付けられました。敷地面積は 45,881 m²（13,903 坪）、延べ床面積は 16,933 m²あり、562 台（11,625 m²）の駐車場を完備しています。また、ロケーションは名古屋高速船見インターが目前にあり、交通アクセスについても申し分ありません。

愛知県は長年にわたり花き生産日本一を誇っており、主産地の市場として、新鮮で高品質、個性的で魅力ある花を集めて供給していくという点に当市場の狙いがあり、中部圏の拠点市場として、「商流・物流・情報」を三位一体とし、高度化されたハブ機能を持つ市場を目指しています。



名港フラワーブリッジの外観

II 業務のながれ

1. 入荷

花の入荷受付は終日対応してします。入荷時にバーコードで管理して WEB 上で買受人等へ情報公開しており、スムーズな荷受ができるように、出荷情報は事前連絡（セリ前日の正午まで）が基本となっています。また、鮮度保持のため、市場内は全館空調により定温管理しており、コールドチェーンシステムを確立しています。



バーコードによる入出荷管理

2. セリ前販売

セリ前販売は、事前に注文をいれる予約相對販売と注文販売（長期、短期、もの日）となり、セリ日の前日までに FAX 及び電話などで注文を受け付けています。産地からの入荷情報は、有利販売を行うため WEB 等で公開しています。

切り花の WEB 販売は、セリ日前日の 14 時から 21 時まで（18 時からは商談時間）となります。鉢物の WEB 販売は、月曜日と金曜日の 16 時から 24 時まで、相對販売は週 7 日間行っています。

3. セリ販売

セリ場（オークションルーム）は座席数が 360 席で、120 インチモニターが 8 面設置された 8 レーンがあり、価格入力による「セリ上げ方式」で販売しています。セリ曜日は、切り花が月・火・水・金・土、鉢物が火・土で、セリ開始時間は 6:30 からとなります。また、自宅から参加できる在宅セリ（ライブオークション）により、インターネット上からセリに参加することも可能です。その際、セリが価格入力方式となっているため、回線スピードと距離による、セリ場との時間差を全く気にする必要はありません。



オークションルーム



セリ入力専用端末

セリが開始されると、買い手となる買受人は専用端末で欲しい口数と金額を入れ入札します。買受人の価格入力が出そうと受付が終了し、価格が高い順、入力が早い順で販売確定となります。また、残数がある場合はマリセリ（価格がストップしている状態）となります。セリ時間は1ロットあたり約30秒ありますので、焦らず、ゆっくりと価格の入力を行うことができます。

価格入力によるセリシステムの概要

(1) セリシステム（一定の時間内において買受人が欲しいと思う「口数」と「金額」を入力して入札）

- ① 買受人は手セリと同様に価格を提示（テンキー入力）します。
- ② 複数レーンに対応し易くなっています。
- ③ 先行入力やお知らせ機能を活用することで買い逃しのリスクを軽減します。

(2) セリの流れ



セリモードの遷移

- ① 準備
セリ人によりガイド価格設定や金額単位設定変更を行います。
- ② セリ
セリ人によりセリ開始後、買受人からの入札を受付けます。入札状況はセリ人端末で確認ができます。
- ③ カウントダウン
入札受付終了の合図です。ダウン受付終了ボタンを押下することでカウントダウンが始まります。
- ④ 入札受付終了
カウントダウン終了で入札受付終了となります。
- ⑤ セリ終了
残数がなければセリ終了となります。この際、残数がある場合は『マリモード』で販売します。

(3) セリの設定（セリ人による設定）

- ① ガイド価格の設定
セリ人が売りたい価格を買受人に知らせるための価格で、任意のタイミングで変更可能です。
- ② 金額単位の設定

入札の金額単位はセリ準備モードのときのみ入力可能となります。

③ 応札有効価格の設定

入札金額の有効価格を決めて下値の管理を行います。セリ中であれば有効価格はいつでも変更することができます。

(4) セリ参加方法 (以下の3通り)

- ① オークションルーム応札機
- ② ライブオークション
- ③ 先行入力 (応札機と WEB 上で登録可能)



セリ画面

4. 商品の引き渡し

当市場では商品の入庫、仕分、出庫まで一体化した自動搬送設備を導入して、省力化と場内物流の迅速化、人的ミス軽減を図っています。WEB等で販売した商品は自動で買受人ごとに搬出され、台車に仕分けられます。また、仕分けられた商品を全品検品し、買受人ごとに商品の有無を確認後に引き渡しを行っており、買受人カード (IC カード) により買上伝票を発行します。

なお、自動搬送設備は一般的な横箱段ボールに対応しており、他の縦箱段ボールや枝物などは、従来通り手仕分で行っています。また、設備は自動ラック部分とコンベヤラック部分に分かれ、自動ラックは基本的に未販売品を格納し、コンベヤラック部分は販売品を格納しています。自動ラック部分で 6,240 ケース、コンベヤラック部分で 1,440 ケース格納でき、入庫ラインは 5 ラインで、1 ラインは時間あたり 700 ケースの処理能力があり、設備全体では時間あたり 2,000 ケース程度の処理能力があります。



自動ラック



コンベアライン

Ⅲ 市場情報システムの概要

1. 新市場開設にあたり検討したこと

(1) 買受人のサービス向上

- ・場内業者が一体となって買受人に対応 ⇒ 場内共通システム/精算システムの一元化
- ・間違い防止 ⇒ 場内物流の機械化
- ・品質保持 ⇒ 鮮度保持、夏季の全館空調

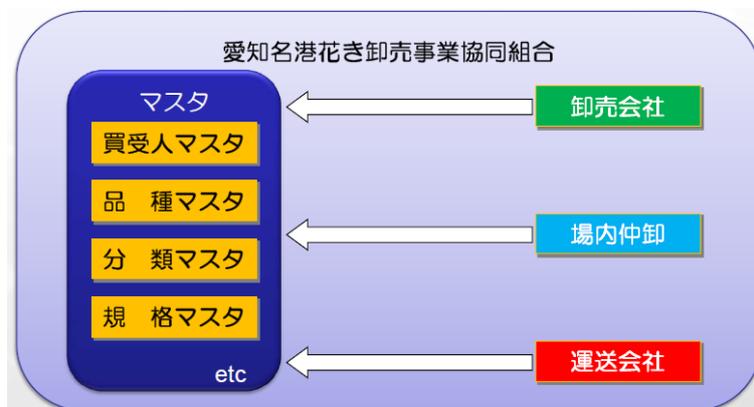
(2) 市場内コストの低減

- ・情報システムの一体開発
- ・場内物流の機械化
- ・音声通信の場内業者一体運用

2. 場内共通システム

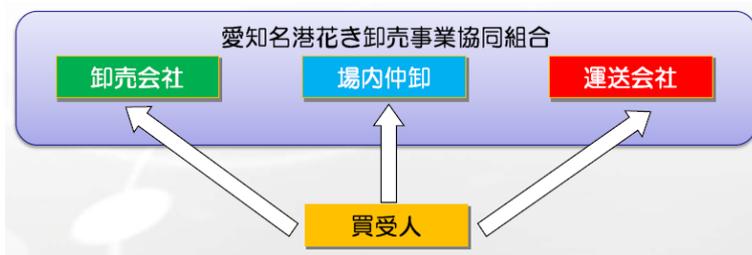
(1) 市場内関連業者との共通マスタ化

① 共通マスタ※



※ 市場内の関連業者は同じマスタを使用します。

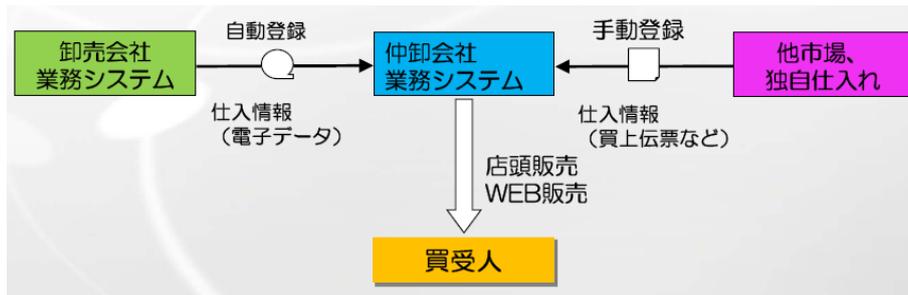
② 買受人コードの共通化※



※ 買受人は1つのコードで市場内の各業者と取引を行うことができます。

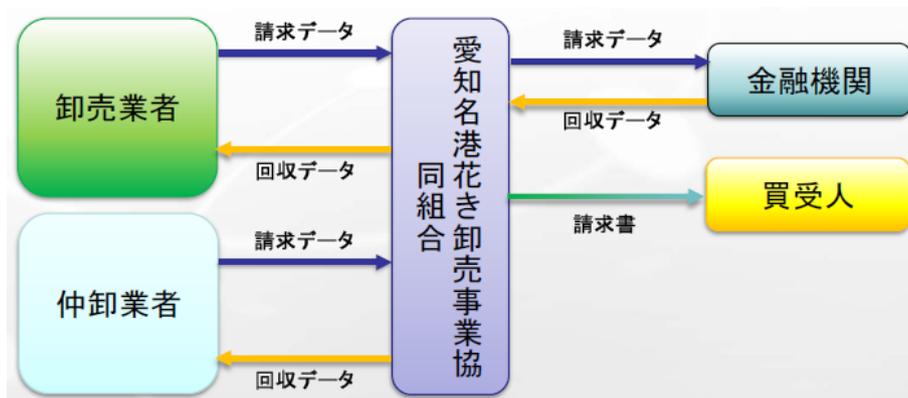
(2) 仲卸業者仕入情報のリアルタイム化

卸売会社から場内仲卸会社への販売情報は、リアルタイムに仕入情報として仲卸会社業務システムに自動登録されます。その仕入情報は即座に場内の仲卸会社の販売情報へと活用可能となります。また、仕入情報に単価設定を実施することで買受人、買出人に商品販売可能となります。なお、販売方法は仲卸業務システムでの引当販売だけでなく、店頭販売、WEB販売も可能です。



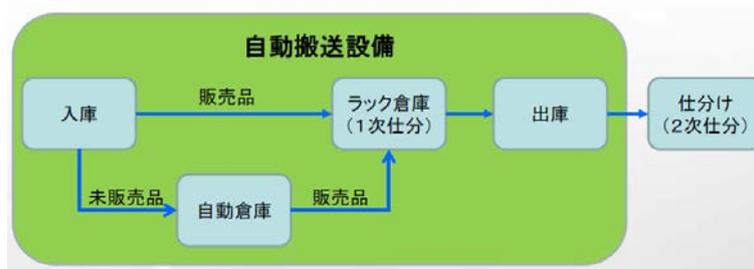
(3) 市場内関連業者での精算業務を一括管理

請求業務は個別対応ではなく、買受人情報を一元管理して共有化することで、場内業者の請求を一括で実施しています。また、一括した販売停止（支払不払いが発生したら一括で販売停止）も可能となっています。



3. 場内物流の機械化

(1) 自動搬送システム作業フロー

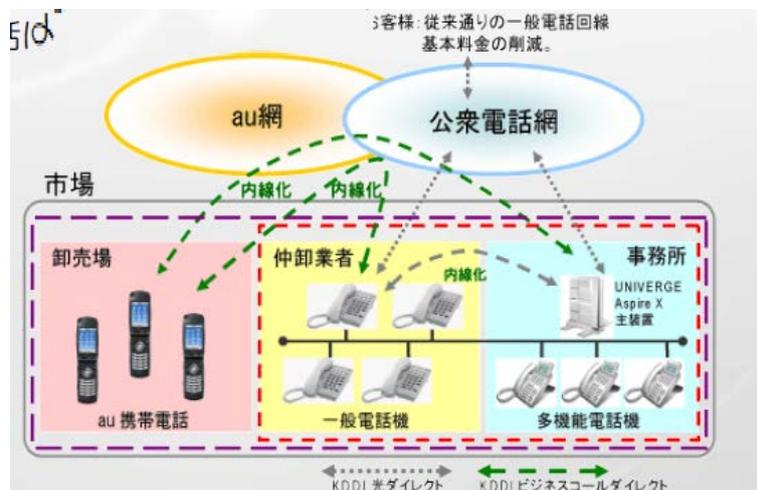


(2) 自動搬送システムで、仕分け作業の正確性と迅速化

- ① 販売済み商品に対し、販売ラベル添付を自動搬送システムが実施することで添付ミスが無くなり、仕分け間違いを大幅に低減しています。
- ② 仕分け作業はラック倉庫を活用し、買受人番号を指定することで、自動的に買受人が購入した商品を搬送するため、仕分け作業を正確かつ迅速に行うことが可能となっています。
- ③ 商品は『荷受番号+ケース ID』で管理されています。1つ1つのケースがどういう経路を経由して仕分けが行われたのかを、トレースすることができます。そのため、仕分けミスや商品の行方が分からなくなる事が発生した際も、搬送経路を辿ることで行方の捜査をする事が簡易になっています。

4. 市場内通信

KDDI のビジネスコールダイレクトにより、携帯電話を内線電話として扱っています。携帯電話は、名港フラワーブリッジ全社員と場内関連業者、開設者で約 120 台が内線化されています。携帯電話から社外固定電話への通話は事業所内 PBX を介して発信されるため、通話料は通常の固定電話と同じ料金となり、通信料のコストダウンが図れます。



IV おわりに

上述のとおり、名港フラワーブリッジは先進的な情報システムと自動搬送設備を具備した非常に効率的な市場です。ただ市場機能のスペックを考えると、まだまだ取扱量を増やしていけそうだと感じました。

また、機械セリ等の市場情報システムについては、新市場に移行する際に、市場関係者を集めて約 2 ヶ月にも及ぶ事前研修を行ったとの説明がありました。開設に当たっては相当ご苦労されたものと思われませんが、現在は若者から高齢者の買受人まで、オークションルームの専用端末を自由に使いこなしていました。

なお、市場内が非常に清潔で、整理・整頓が行き届いている点が特に目に付きましたが、それもその筈であり、当市場は 2011 年 1 月 27 日に、MPS[※]-GPA (Good Practice Auction) の認証を受けているようで、花き流通における環境・鮮度・品質の管理を行い、環境への配慮、従業員教育などに積極的に取り組み、社会的責任を果たすよう努めているとのことでした。

※ MPS とは 1994 年にオランダで始まった花き産業のための国際認証制度です。